

【令和元年度の検討項目】

1. 危険物取扱者の保安講習に係る検討（中間まとめ、第1関係）

- 危険物施設の事故件数が依然として高い水準で推移していることを踏まえ、操業や維持管理を担う危険物取扱者の資質の向上を図るため、保安講習（3年に1回）について、事故分析の結果を反映するとともに、点検・維持管理に関する内容を充実させる等の見直しが必要。

→ 危険物取扱者の保安講習カリキュラムの見直しに向けた検討等を行う。

2. 屋外貯蔵タンクの浮き屋根における漏えい事故を踏まえた安全対策に係る検討（中間まとめ、第2関係）

- 浮き屋根式屋外タンク貯蔵所において、長期使用に起因する浮き屋根内部への危険物の漏えい事故が散見されることから、その原因と効果的な点検方法や応急措置等の対策を検討

→ 「屋外貯蔵タンクの浮き屋根の安全対策に関するWG」において検討を継続する。

3. 高経年化した設備・機器等の効果的な予防保全に係る検討（中間まとめ、第3関係）

- 事業者において高経年化した設備・機器等の状態を把握し、適時適切な補修等につなげるための技術的な方策を検討することが必要。
- 消防機関において、危険物専従以外の職員や経験年数の短い職員を含め、効果的・効率的な検査の実施を支援するための技術的な方策を検討することが必要。

→ 技術情報を整理した事業者向け・消防機関向けのガイドライン策定に向けた検討を行う。